



獣医疫学セミナー

乳牛のアカバネ病は、Bunyaviridae 科 bunyavirus 属 Simbu 群に属するアカバネウイルスを原因とする感染症で、ヌカカなどの吸血昆虫によって媒介され、季節性を持って流行し異常産を引き起こす。本セミナーでは、千葉県での乳牛のアカバネ病流行事例から、アカバネ病ワクチン接種の経済評価を行う目的で実施した研究結果（アカバネ病の異常産による乳量の減少や子牛死亡などの経済的損失、アカバネ病ワクチン接種の有用性についての経済的評価、また、アカバネ病の流行予測を行うためのアカバネ病発生と気象データやウメの開花日との関係など）について報告する。



2006.1.16(月)

14:00-15:00

帯広畜産大学 第22番教室 (図書館隣接の講義棟2階)

その流行予測 獣医経済学的研究と 乳牛のアカバネ病に関する

千葉NOSA1連

西部家畜診療所

堀北哲也